

株主の皆さまへ

第 34 期 報 告 書

2011年4月1日から2012年3月31日まで

TOWA



■ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第34期報告書（2011年4月1日から2012年3月31日まで）をお届けし、事業の概況等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧や電力不足、放射能汚染、そして歴史的な円高に欧州の財政問題など、まさに様々な問題に直面した1年でありました。年度終盤に入り、ようやく本格化した復興需要が景気回復に寄与し、内外の政治リスクや原油高などの不安要素は残るものの、長引く低迷から反転の兆しが見られる状況となりました。

半導体市場におきましては、パソコンやテレビの販売不振が各半導体メーカーに大きな影響を与えました。また、タイで発生した洪水の影響は、各半導体メーカーの現地工場等に対する直接的な被害に留まらず、HDDの調達難を引き起こし、さらに市況の悪化を招くこととなりました。DRAMにおいては価格下落に歯止めがかからず、大手メモリーメーカーが破綻に追い込まれるまでに至りました。

この様な状況のもと当社グループでは、東日本大震災やタイの洪水により被災されたお客さまの早期復旧・生産再開のため、グループ全社をあげて万全のサービス・生産体制をとり、最大限の支援を行ってまいりました。

また、販促活動としましては、本社工場（京都）においてプライベートショーを開催し、その後の装置受注に大きく貢献いたしました。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営施策の一つと考えており、競争力のある製品開発や生産設備への投資、さらなる財務体質の改善等に必要な内部留保を確保した上で、各事業年度の業績に応じた利益配分を実施することを基本方針としております。この方針に基づき、当期につきましては、1株当たり5円の配当とさせていただきます。

今後とも、株主の皆さまのご期待にお応え致すべく、TOWAブランドの価値をさらに高め、収益性を伴った成長を実現してまいりますので、何卒引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年6月



代表取締役社長

代表取締役会長

岡田博和

飯本和彦

当社は有利子負債の圧縮に一定の目処をつけ、損益分岐点売上高の引き下げを完了させたことから、当連結会計年度の売上高は171億40百万円（前連結会計年度比54億52百万円、24.1%減）と期初計画に対して未達となりましたが、営業利益は14億76百万円（前連結会計年度比25億90百万円、63.7%減）、経常利益は16億72百万円（前連結会計年度比23億91百万円、58.9%減）と前連結会計年度の実績は下回ったものの、期初計画を上回る事ができ、当期純利益につきましては9億68百万円（前連結会計年度比27億83百万円、74.2%減）となりました。

一方、世界の半導体業界図は大きく変化しました。残念ながら、日本の半導体企業が占める面積は小さくなる一方であります。今われわれは、お客さまが本当に求めるものを深く追求し、クォーター・リードに徹した新製品・新商品を創成するという、まさにモノ造り企業としての要諦が試される時代にあります。

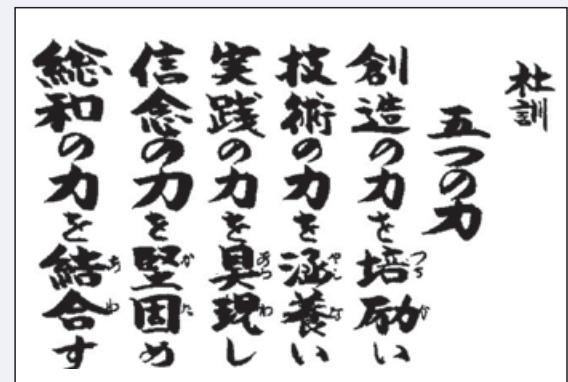
当社は、財務体質の改善と収益力の向上を実現したことから、攻めの経営に転じるため、中期経営計画の2年目となる第35期（2012年4月1日～2013年3月31日）から新体制を発足させました。この新体制の下、コア技術である金型をはじめとしたモノ造り企業の真価をさらに発揮し、お客さまが本当に求めるものを創り出すことで、将来の収益基盤を担保する新技術・新製品の開発に全力で取り組んでおります。この取り組みが確実に成果を生み出し、収益に直結するまでに要する時間をいかに短縮するかが当社の眼下の課題であります。

TOWAの社訓

当社は、1979年4月17日に東和精密工業株式会社として設立し、創業にあわせて「五つの力」を社訓として掲げました。

「ものづくり」への熱い想いと社訓「五つの力」を胸に刻み、株主さまをはじめとするステークホルダーの方々やお客さまに一層の信頼とご満足をいただけるよう、企業価値の向上に努めてまいります。

- ・創造の力を^{つちか}培励い
結果に対し、常に省みてよりよいものを創り出す
- ・技術の力を^{やしな}涵養い
日頃の練磨と研鑽が技術を育てる
- ・実践の力を^{あらわ}具現し
実行の力はすべてに勝る、率先垂範
- ・信念の力を^{かた}堅固め
自己を、そして他を強くする生きた信条をもつ
- ・総和の力を^{あわ}結合す
叡智を集めて社の発展に心を合わせる

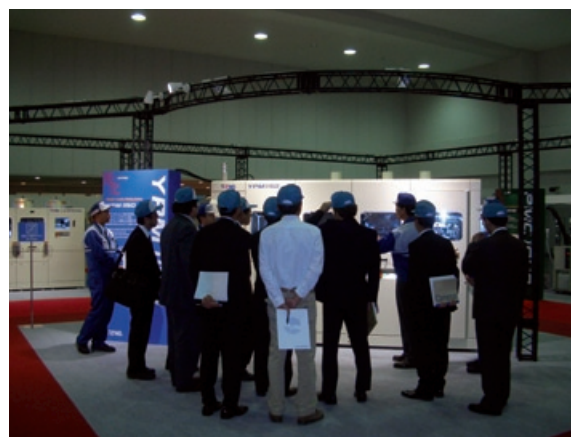




原点回帰、そして真価に挑む

— プライベートショー2011開催 —

2011年12月7日から21日までの2週間にわたり、本社工場（京都）において約200名のお客さまをお招きし、プライベートショーを開催しました。このプライベートショーでは、「SHINKA-TOWAの真価を未来へ」をテーマとし、当社が考える今後の半導体製造におけるモールドング技術の新しい方向性を示すとともに、新製品を実際に工場内で稼働させ、お客さまに当社の新しい技術を目の当たりに見ていただきました。



▲プライベートショー会場

ご来場いただいたお客さまからは、当社の独自技術やお客さまの生産性向上のソリューションとなる可能性に高い評価をいただき、その後の装置受注に大きく貢献いたしました。



▲新発売のYPM1150

今回のプライベートショーでは新製品の発表に加え、当社のR&Dである坂東記念研究所で現在取り組んでいる“新素材金型”を披露しました。この新素材金型は他にない高離型を実現し、半導体製品の品質を向上させるとともに、クリーニングサイクルが画的に伸びることから、お客さまの生産性が大幅に改善される、まさに“夢の金型”であります。



▲プライベートショー展示ブース

これからもTOWAはSHINKAを続け、モノ造り企業としての真価に挑んでまいります。



TOWAグローバルTOPICS

LED事業においても中国・台湾地域は大きなマーケットになっています。今後は半導体のアッセンブリーハウスがLED事業に本格参入し、さらに市場の拡大は続くと思われます。当社は半導体事業で培ったコンプレッション技術をLED樹脂封止装置に応用し、新たな事業の柱として積極的な活動を行っております。



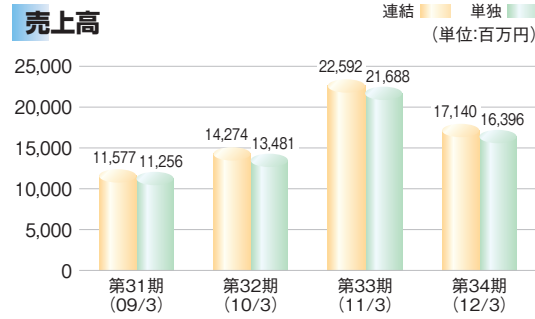
▲広州国際照明技術展2011

前期は中国で開催されました「広州国際照明技術展2011」および台湾で開催されました「LED Lighting台湾2011」に出展いたしました。

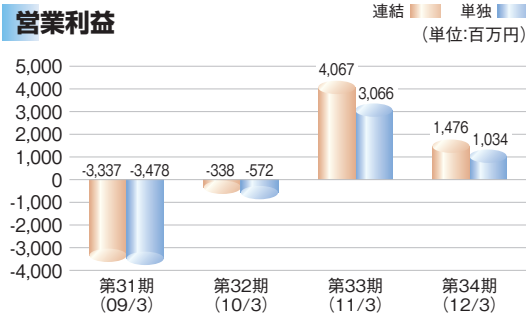
さらに重要性が高まる中国・東南アジアにおける当社の販売拠点であるTOWA上海は設立10周年、マレーシアの生産拠点であるTOWAMは設立20周年を迎えました。これからもますます発展する中国・東南アジア市場へ積極的に事業を展開してまいります。

業績の推移

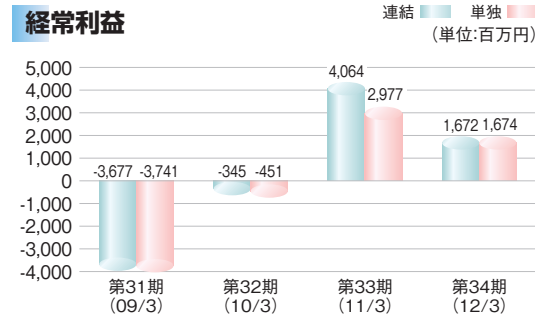
売上高



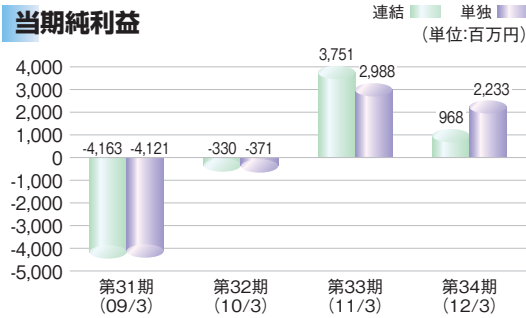
営業利益



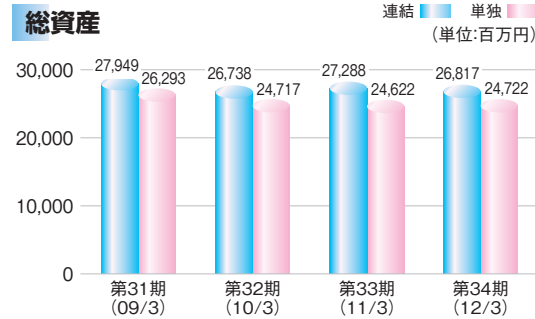
経常利益



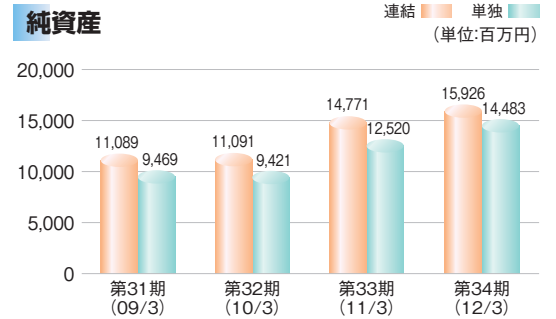
当期純利益



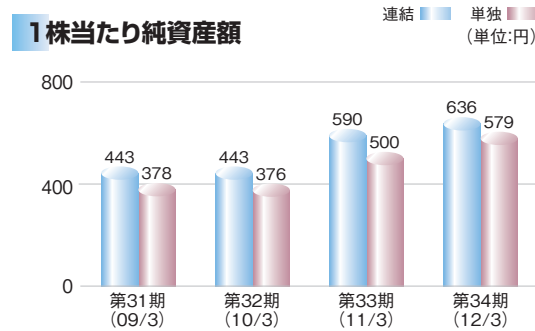
総資産



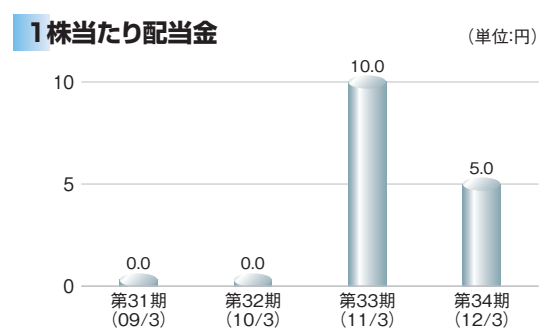
純資産



1株当たり純資産額

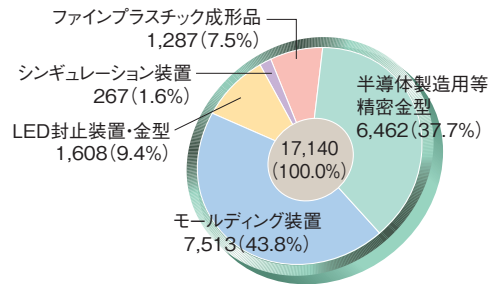


1株当たり配当金

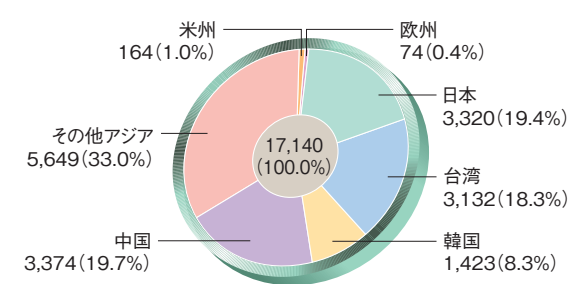


[セグメント別連結売上高 (第34期)]

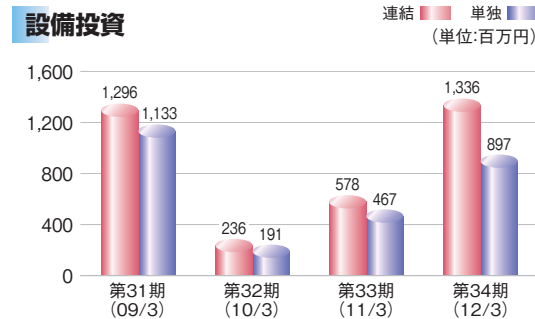
製品別 (単位:百万円)



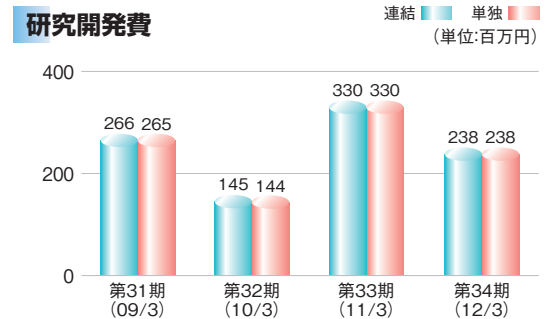
地域別 (単位:百万円)



設備投資



研究開発費



決算概要

連結貸借対照表 (2012年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	14,152
現金および預金	4,708
受取手形および売掛金	5,799
たな卸資産	3,372
その他	273
固定資産	12,665
有形固定資産	9,696
建物および構築物	3,699
土地	4,163
その他	1,834
無形固定資産	719
投資その他の資産	2,249
資産合計	26,817

(注) 当期の連結子会社は10社、持分法適用会社は3社であります。

連結損益計算書

(2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	17,140
売上原価	11,790
売上総利益	5,349
販売費および一般管理費	3,873
営業利益	1,476
営業外収益	352
営業外費用	156
経常利益	1,672
特別利益	17
特別損失	609
税金等調整前当期純利益	1,080
法人税・住民税および事業税	139
法人税等調整額	△ 27
当期純利益	968

科目	金額
【負債および純資産の部】	
流動負債	8,397
支払手形および買掛金	2,719
短期借入金	1,400
その他	4,278
固定負債	2,493
長期借入金	1,292
その他	1,201
負債合計	10,891
株主資本	15,710
資本金	8,932
資本剰余金	462
利益剰余金	6,324
自己株式	△ 8
その他の包括利益累計額	215
その他有価証券評価差額金	497
為替換算調整勘定	△ 281
純資産合計	15,926
負債・純資産合計	26,817

連結キャッシュ・フロー計算書

(2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,280
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 41
現金および現金同等物の増減額	△ 538
現金および現金同等物の期首残高	4,933
現金および現金同等物の期末残高	4,395

連結株主資本等変動計算書 (2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2011年4月1日 期首残高	8,932	462	5,605	△ 8	14,992
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 250		△ 250
当期純利益			968		968
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	718	△ 0	718
2012年3月31日 期末残高	8,932	462	6,324	△ 8	15,710

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2011年4月1日 期首残高	517	△ 739	△ 221	14,771
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△ 250
当期純利益				968
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△ 19	457	437	437
連結会計年度中の変動額合計	△ 19	457	437	1,155
2012年3月31日 期末残高	497	△ 281	215	15,926

会社の概要

商号	TOWA株式会社 (英文名TOWA CORPORATION)		
設立	1979年4月17日		
資本金	8,932,627,777円		
本社所在地	京都市南区上鳥羽上調子町5番地 ☎(075) 692-0250(代表)		
従業員数	429名		
役員	代表取締役会長	坂東和彦	
(2012年6月28日現在)	代表取締役社長	岡田博和	
	専務取締役	天川剛	
	常務取締役	小西久二	
	常務取締役	福富誠和	
	取締役相談役	西村永和	
	取締役	桑木肇一	
	執行役員	石田耕昌	
	執行役員	岸本浩一	
	執行役員	浦上尚芳	
	常勤監査役	小林久大	
	監査役	杉山公大	
	監査役	和氣大輔	
ホームページ	http://www.towajapan.co.jp		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	株主総会権利行使および期末配当	3月31日	
	中間配当	9月30日	
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	大阪市北区曽根崎二丁目11番16号 みずほ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部		
郵便物の郵送先及び 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 ☎0120-288-324(フリーダイヤル)		
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインバスターズ証券では取次のみとなります)		
公告方法	電子公告の方法により行います。但し、 やむをえない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞 に掲載します。 公告掲載URL http://www.towajapan.co.jp		

株式の状況 (2012年3月31日現在)

●発行可能株式総数	80,000,000株
●発行済株式の総数	25,021,832株
●株主数	9,747名
●大株主	

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,337 ^{千株}	13.34 [%]
有限会社ケイビー恒産	2,000	8.00
坂東和彦	1,555	6.22
株式会社京都銀行	699	2.80
JP MORGAN CHASE BANK 385181	513	2.05
山田矩規子	504	2.02
有限会社ケイビーテクノ	500	2.00
BARCLAYS CAPITAL SECURITIES LIMITED	468	1.87
資産管理サービス信託銀行株式会社	468	1.87
坂東敬子	320	1.28

(注1) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数は信託業務に係るものです。

(注2) 持株比率は、自己株式(9,381株)を控除して計算しております。

TOWAグループ (2012年3月31日現在)

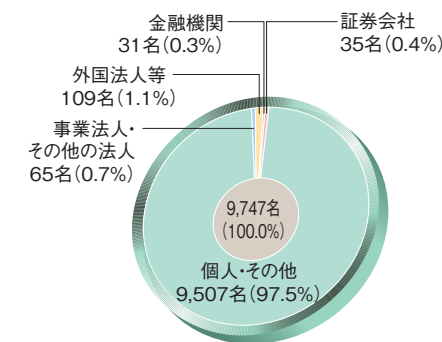
国内

TOWA株式会社
本社・工場
京都東事業所
坂東記念研究所
九州事業所
東京営業所
株式会社バンディック
TOWATEC株式会社
株式会社サーク

海外

TOWA Asia - Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)
TOWAM Sdn. Bhd. (マレーシア)
TOWA Semiconductor Equipment
Philippines Corporation (フィリピン)
TOWA America Corporation (米国)
TOWA Europe GmbH (ドイツ)
東和半導体設備(上海)有限公司 (中国)
上海沙迪克軟件有限公司 (中国)
TOWA半導体設備(蘇州)有限公司 (中国)
蘇州STK鑄造有限公司 (中国)
台湾東和半導体設備股份有限公司 (台湾)
巨東精技股份有限公司 (台湾)
株式会社東進 (韓国)

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布

